

4890

六

極秘

林經政第四號

第十五軍軍政會計施行細則附片、件報告

昭和十七年六月三十日

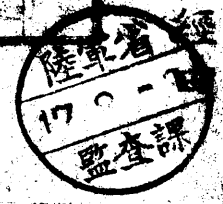
第十五軍軍司令官 飯田祥三

陸軍大臣 東條 英機 殿

首題ノ件別冊ノ通リ定メタルニ付陸軍軍政會計規程第二十四條ニ依リ報告ス

主計係 倉部 孝徳 七三〇

陸軍軍政第六九三號



8390

極秘

第十五軍政會計施行綱則

林 經 政 第 三 號

第十五軍軍政會計施行細則制定ノ件達

關係隸指揮下部隊

首題ノ件本冊ノ通り定ム

昭 和 十 七 年 六 月 十 五 日

第十五軍司令官 飯 田 祥 二 郎

## 第十五軍軍政會計施行細則

## 第一章 總則

第一條 本細則ハ陸軍軍政會計規程（以下單ニ規程ト略稱ス）ニ基キ細部ノ等項ヲ規定ス

現地民ニ依リ行政ノ實行ヲ爲ス場合ニ於ケル會計事務取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二條 本細則ニ明文ナキモノハ會計規則其他會計ニ關スル一般規程ヲ準用スヘシ

第三條 特別ノ必要ニ依リ規程第三條第二項ノ特別會

計ヲ設置セントスルトキハ軍政部長陸軍大臣ノ認可ヲ受クルノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 規程第六條但書ノ規定ニ依リ會計年度ノ期間ヲ短縮スル必要アル場合ハ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

## 第二章 豫算

第五條 豫算ハ軍政部各部局及軍政部支部（特務機關）ノ所管ニ分チ各所管毎ニ從來ノ慣行ニ依ル豫算編成區分ニ從ヒ歲入歲出豫算ヲ調製シ之ニ基キ軍政部長規程第八條ノ總豫算ヲ編成スヘシ

但シ狀況ニ依リ右所管區分ヲ設ケサルコトヲ得

第六條 總豫算ハ各所管毎ニ經常臨時ノ二部ニ分チ、款

項目ニ區分シ歳入ノ性質及歳出ノ目的ヲ明ラカニス  
ヘシ

科目ノ區分ハ當初從來ノ慣行ニ從フモ之ニ依ラサル  
場合ハ軍政部長軍經理部長ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第七條 規程第八條ノ豫備費ヲ以テ支辨ヲ要スルモノ  
ニシテ事ノ重要ナルモ、ハ豫メ軍司令官ノ認可ヲ受  
ケ然ラサルモノハ支出後軍司令官ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 豫算ハ規程第八條及規程第十條ニ依リ總豫算

ニ在リテハ前年度二月末日迄ニ追加豫算ニ在リテハ  
編成後成ル可ク速カニ陸軍大臣ノ認可ヲ受クル如ク  
軍政部長其手續ヲ爲スヘシ

第九條 豫算ノ編成ニ當リ支出ニ對スル收入ノ不足ハ

臨時軍事費ヨリ補給ヲ受クルモトシ歳入豫算ニ臨  
時軍事費補給金トシテ計上スヘシ 此ノ場合ハ補給  
金ノ償還計畫ヲ添付スルモトス

臨時軍事費補給金軍政部財務部ノ所管トス

第十條 支出ニ對スル收入ノ不足ニシテ豫算ニ依リ認可ヲ受クルモノ外臨時軍事費ヨリ補給ヲ要スルモノアルトキハ規程第九條ノ規定ニ依リ軍政部長其金額ニ必要トスル事由並ニ將來ノ償還計畫ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受クルノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 總豫算ノ編成ニ當リ收支ノ餘利ハ之ヲ臨時軍事費軍資金歳入ニ繰入ルルモノトシ軍政部財務部所管歳出豫算ニ軍資金繰入金トシテ計上スヘシ  
繰入ノ時期ニ關シテハ軍政部長軍經理部長ニ協議シ



テ之ヲ定ムハシ

前項ノ規定ハ臨時軍事費ヨリノ補給金償還ノ爲臨時  
軍事費單資金融入ニ繰入ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三條 豫算ニハ機密費及接待費ハ之ヲ計上セサルモ

ノトス

第三條 總豫算又ハ追加豫算ニ付陸軍大臣ノ認可アリ

タルトキハ軍政部長各前管毎ニ豫算ノ定額ヲ令達ス

ハシ

第四條 規程第十一條ノ歳計剩餘ハ年度經過後三月

以内ニ之ヲ臨時軍事費軍資金歳入ニ組入ルヘシ

### 第三章 収入及支出

第五條 軍政會計歳入徴收官 支出官 收入官吏及資金

前渡官吏ハ軍政部ノ官吏ヲ以テ之ニ任命スヘシ 但シ

各廳ニ於テ長以外ニ官吏ノ附屬ナキトキハ所屬ノ囑託

員又ハ雇員ニ出納員ヲ命スルコトヲ得

軍政會計歳入徴收官 支出官 收入官吏 資金前渡官

吏及出納員ノ組織 職務権限 責任並ニ處務要領并ハ

一般ノ會計法規ヲ準用ス

第六條 前條ノ收入官吏 資金前渡官吏及出納員ニ對シ

テハ同時ニ歳入歳出外現金出納官吏（出納員）ヲ任命  
スヘシ

第七條 租税其他ノ收納金ハ軍政會計歳入徴收官ノ發行

スル納入告知書ニ依リ日本銀行代理店ヲシテ收納セシ  
ムヘシ 但シ日本銀行代理店ノ設置ナキ地方ニ於ケル  
收納金又ハ特別ノ必要アル場合ハ軍政會計收入官吏ヲ  
シテ之ヲ收納セシムルコトヲ得

軍政會計收入官吏其收納シクル現金ハ毎月少クモ一回

之ヲ軍政會計歳入徴收官ニ拂込ムヘシ

第六條 支出ハ總テ軍政會計支出官ノ振出スル切手ニ依ルヘシ 但シ日本銀行代理店ノ設置ナキ地方ニ於ケル支拂又ハ特ニ必要アル場合ハ軍政會計資金前渡官吏ニ所要ノ資金ヲ前後シテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 支出ニ充ツル爲規程第十三條ノ收納現在金ヲ以テ不足スル場合ハ軍政部長軍司令官ノ認可ヲ受ケ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ當該年度内ニ返済スヘシ

第三條 左ノ收入ハ軍政會計ノ收入ニ繰入ルルコトナ

ク臨時軍需費軍資金歳入ニ繰入レ前年度資金トシテ差  
 継受領ノ手續ヲ爲スヘシ

一 押収工場事業場ノ軍直營ニ依ル收入金

二 軍政費繰替金ノ戻入金並ニ之ニ類スル收納金

三 敵産ニシテ設收ノ對象トナルヘキ收入及課金

取立金ノ類

四 軍ノ押収セル敵性銀行ノ差押金中敵國政府ノ所

有ト認メラルヘキモノ

五 未發行紙幣ノ發行額

六 押收品携下代

七 其他歸屬明確ナラサル收入金一切

第三條 前條第三號ノ收入及課金、取立金、類ハ軍政

會計ノ收入不足ニ充當スル爲軍資金歳入ニ繰入ルル

コトナク軍司令官ノ認可ヲ受ケ當該會計ノ財政收入  
ト爲スコトヲ得

前條第五號ノ未發行紙幣ノ發行額ハ特別ノ必要アル

場合ニ於テハ軍資金歳入ニ繰入ルルコトナク總司令官ノ認可ヲ受ケ其全部又ハ一部ヲ民間金融資金又ハ特別野戰酒保資金等ノ財源トシテ運用スルコトヲ得

第五條 左ノ資金等ハ軍政會計ノ收入トシテ繰入ルルコトナク軍經理部職員タル歳入歳出外現金出納官吏ヲシテ之ヲ保管セシムヘシ

一 敵性差押銀行ノ資産ニシテ民有ニ屬スル現金及之ニ代ルヘキ有價証券類

歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ保護預託金トシ

テ整理（銀行別ニ内容ヲ明確ニス）シ横濱正金  
銀行ニ預託スルモノトス

ニ 軍ニ於テ押收セル工場事業場ノ賣却代金及敵性  
私人ニ屬スル動産及不動産賣却代金

歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ「徵用財産賣却代  
金」トシテ整理（所有者別ニ内容ヲ明確ニス）シ  
横濱正金銀行ニ預託スルモノトス

三 第二十一條第二項ニ依リ運用スヘキ資金  
歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ未發行紙幣發行



運用金トシテ整理スルモノトス

第三條 前條第一號ノ保護預託金ハ總司令官ノ認可ヲ

受ケ民間金融資金又ハ特別野戦酒保資金其他必要ナル方面ニ運用スルコトヲ得

前條第二號ノ徵用財産賣却代金ハ總司令官ノ認可ヲ

受ケ産業復興資金 敵性國人ノ收容又ハ生活費 敵

國財産ノ管理費其他必要ナル方面ニ運用スルコトヲ

得

第三條 軍政部長第二十一條及前條ノ規定ニ基キ其收

入又ハ資金ヲ軍政ニ關スル經費ニ運用スルノ必要ヲ  
認メタルトキハ軍經理部長ニ協議スハシ

第五條 軍政ニ關スル經費ノ内左ノ諸費ハ臨時軍事費

ヨリ支出スルモノトス

一、軍固有ノ編成内ニ在ル軍人軍屬ノ諸給與ハ固有  
ノ科目ヨリ支出ス

二、軍事目的ノ爲實施スヘキ事業費（現地側經費ヲ  
以テ實施セシムルモノヲ除ク）

固有ノ科目又ハ特ニ示ス科目ヨリ支出ス

三 押収工場事業場ノ軍直營ニ要スル經費

事業ノ性質 生産品ノ種類ニ應シ衣糧費 兵器  
費 築造費等ヨリ支出ス

同一工場ニテ各科目ニ應スル生産品アル場合ハ  
概ネ生産額ニ應シ區分支出ス

四 軍政費ニ一時繰替ノ爲ノ補給費

臨時軍事費軍政費(目)ヨリ支出ス

五 其他特ニ指定セル經費(物資取得ノ經費等)

固有科目又ハ指定スル科目ヨリ支出ス

第三條 軍事目的ノ爲實施スヘキ事業費ニシテ毎月人件

費支出額三萬圓以上ニ及フ計畫ノモノハ豫メ其概要ニ

付總司令官ノ認可ヲ受クヘシ

#### 第四章 決算證明及會計監督

第三條 軍政會計歳入徴收官 支出官及出納官吏ハ規

程第十六條ニ依リ調製セル月次歳入徴収額計算書

支出計算書及出納計算書ヲ翌月二十五日迄ニ軍政部

長ニ提出スルト共ニ之ニ證憑書類ヲ添ヘ軍經理部長

ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

第六條 軍政部長ハ年度經過後ニケ月以内ニ年度總收支計算ヲ調製シ所要ノ説明ヲ附スヘシ

第七條 軍政部長ハ規程第十七條ニ依リ月次成入徴収額計算書 支出計算書 出納計算書及年度總収支計算書ヲ陸軍大臣ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 軍政會計ニ屬スル會計事務ノ監督ハ軍經理部長之ヲ實施スヘシ

軍經理部長會計事務ノ監督上必要アルトキハ軍政會計成人徴収官 支出官及出納官吏（出納員）ニ對シ

前要ノ指示ヲ爲シ又ハ報告ヲ求ムルコトヲ得

但シ軍政部長ヲ經由スヘシ

第三條 軍經理部長會計事務ノ監督上必要アルトキハ軍

政部及軍政部支部ノ軍政會計事務ニ付實地検査ヲ行フ

コトヲ得

第三條 軍經理部長ハ軍司令官ノ認可ヲ受テ軍政會計事

務ノ監督ノ一部ヲ師團經理部長ニ委託スルコトヲ得

第三條 軍政會計出納官吏（出納員）其保管ニ係ル現金

ヲ亡失シタル場合ニ於テ其責ヲ免ルヘキ理由アリト信

スルトキハ關係書類ヲ調製シ軍經理部長ニ送付シ其判  
決ヲ求ムルコトヲ得

第五條 第二十二條ノ歳入歳出外現金出納官吏ハ月次出  
納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月二十五日迄ニ軍  
經理部長ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

第五三條 委託經營ニ係ル押収工場事業場ノ經營者ハ毎年  
六月 十二月ニ決算ヲ行ヒ二月以内ニ決算報告書ヲ  
調製シ財産目錄及貸借対照表ヲ添ヘ軍政部長ニ提出ス  
ルト共ニ軍經理部長ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

軍政部長ハ前項ノ決算書類ヲ認司令官ニ報告ノ手續  
ヲ爲スヘシ

第三十六條 第三十一條及第三十二條ノ規定ハ委託經營ニ  
係ル押収工場事業場ノ會計監督ノ場合ニ之ヲ準用ス

### 附 則

第三十七條 本細則ハ昭和十七年四月一日ヨリ施行ス

但シ狀況ニ依リ右ニ據リ難キ場合ハ努メテ速ク一本  
細則ヲ適用スヘシ

本細則施行前既ニ進行シツツアル軍政會計事務ハ本



細則ニ準據整理スヘシ

第六條 昭和十七年三月三十一日以前ノ軍政會計ハ昭

和十七年度ノ會計ニ包含シテ整理スヘシ

第七條 本細則ニ依リ軍司令官ヨリ申請又ハ報告スル

モノハ認司令官ヲ經由スヘシ

7990

極秘

第十五軍政會計施行細則

林 經 政 第 三 號

第十五軍軍政會計施行細則制定ノ件達

關係隸指揮下部隊

首題ノ件本冊ノ通り定ム

昭 和 十 七 年 六 月 十 五 日

第十五軍司令官 飯 田 祥 二 郎

## 第十五軍軍政會計施行細則

## 第一章 總則

第一條 本細則ハ陸軍軍政會計規程（以下單ニ規程ト

略稱ス）ニ基キ細部ノ事項ヲ規定ス

現地民ニ依リ行政ノ實行ヲ爲ス場合ニ於ケル會計事

務取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二條 本細則ニ明文ナキモノハ會計規則其他會計ニ

關スル一般規程ヲ準用スヘシ

第三條 特別ノ必要ニ依リ規程第三條第二項ノ特別會

計ヲ設置セントスルトキハ軍政部長陸軍大臣ノ認可ヲ受クルノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 規程第六條但書ノ規定ニ依リ會計年度ノ期間ヲ短縮スル必要アル場合ハ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

## 第二章 豫算

第五條 豫算ハ軍政部各部局及軍政部支部（特務機關）ノ所管ニ分チ各所管毎ニ從來ノ慣行ニ依ル豫算編成區分ニ從ヒ歳入歳出豫算ヲ調製シ之ニ基キ軍政部長規程第八條ノ總豫算ヲ編成スヘシ

但シ狀況ニ依リ右所管區分ヲ設ケサルコトヲ得

第六條 總豫算ハ各所管毎ニ經常臨時ノ二部ニ分テ款

項曰ニ區分シ歳入ノ性質及歳出ノ目的ヲ明ラカニス  
ヘシ

科目ノ區分ハ當初從來ノ慣行ニ從フモ之ニ依ラサル

場合ハ軍政部長軍經理部長ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第七條 規程第八條ノ豫備費ヲ以テ支辨ヲ要スルモノ

ニシテ事ノ重要ナルモノハ豫メ軍司令官ノ認可ヲ受

ケ然ラサルモノハ支出後軍司令官ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 豫算ハ規程第八條及規程第十條ニ依リ總豫算

ニ在リテハ前年度二月末日迄ニ追加豫算ニ在リテハ  
編成後成ル可ク速カニ陸軍大臣ノ認可ヲ受クル如ク  
軍政部長其手續ヲ肅スヘシ

第九條 豫算ノ編成ニ當リ支出ニ對スル收入ノ不足ハ  
臨時軍事費ヨリ補給ヲ受クルモノトシ歳入豫算ニ臨  
時軍事費補給金トシテ計上スヘシ 此ノ場合ハ補給  
金ノ償還計畫ヲ添付スルモノトス

臨時軍事費補給金軍政部財務部ノ所管トス

第十條 支出ニ對スル收入ノ不定ニシテ豫算ニ依リ認  
 可ヲ受クルモノノ外臨時軍事費ヨリ補給ヲ要スルモ  
 ノアルトキハ規程第九條ノ規定ニ依リ軍政部長其金  
 額ニ必要トスル事由並ニ將來ノ償還計畫ヲ具シ陸軍  
 大臣ノ認可ヲ受クルノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 總豫算ノ編成ニ當リ收支ノ餘利ハ之ヲ臨時軍  
 事費軍資金歳入ニ繰入ルルモノトシ軍政部財務部所  
 管歳出豫算ニ軍資金繰入金トシテ計上スヘシ  
 繰入ノ時期ニ關シテハ軍政部長軍經理部長ニ協議シ



テ之ヲ定ムヘシ

前項ノ規定ハ臨時軍事費ヨリノ補給金償還ノ爲臨時  
軍事費單資金歳入ニ繰入ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三條 豫算ニハ機密費及接待費ハ之ヲ計上セサルモ  
ノトス

第三條 總豫算又ハ追加豫算ニ付陸軍大臣ノ認可アリ  
タルトキハ軍政部長各所管毎ニ豫算ノ定額ヲ令達ス  
ヘシ

第四條 規程第十一條ノ歳計剩餘ハ年度經過後三月

以内ニ之ヲ臨時軍事費軍資金歳入ニ組入ルヘシ

### 第三章 収入及支出

第五條 軍政會計歳入徴收官 支出官 収入官吏及資金

前渡官吏ハ軍政部ノ官吏ヲ以テ之ニ任命スヘシ 但シ

各廳ニ於テ長以外ニ官吏ノ附屬ナキトキハ所屬ノ囑託

員又ハ雇員ニ出納員ヲ命スルコトヲ得

軍政會計歳入徴收官 支出官 収入官吏 資金前渡官

吏及出納員ノ組織 職務権限 責任並ニ處務要領等ハ

一般ノ會計法規ヲ準用ス

第六條 前條ノ收入官吏 資金前渡官吏及出納員ニ對シ

テハ同時ニ歳入歳出外現金出納官吏（出納員）ヲ任命  
スヘシ

第七條 租税其他ノ收納金ハ軍政會計歳入徴收官ノ發行

スル納入告知書ニ依リ日本銀行代理店ヲシテ收納セシ  
ムヘシ 但シ日本銀行代理店ノ設置ナキ地方ニ於ケル  
收納金又ハ特別ノ必要アル場合ハ軍政會計收入官吏ヲ  
シテ之ヲ收納セシムルコトヲ得

軍政會計收入官吏其收納シクル現金ハ毎月少クモ一回

之ヲ軍政會計歳入徴收官ニ拂込ムヘシ

第六條 支出ハ總テ軍政會計支出官ノ振出スル切手ニ

依ルヘシ 但シ日本銀行代理店ノ設置ナキ地方ニ於

ケル支拂又ハ特ニ必要アル場合ハ軍政會計資金前渡

官吏ニ所要ノ資金ヲ前後シテ支拂ヲ爲サシムルコト

ヲ得

第五條 支出ニ充ツル爲規程第十三條ノ收納現在金ヲ

以テ不足スル場合ハ軍政部長軍司令官ノ認可ヲ受ケ

一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ當該年度内ニ返済スヘシ

第三條 左ノ收入ハ軍政會計ノ收入ニ繰入ルルコトナ

ク臨時軍需費軍資會殿人ニ繰入レ前項資金トシテ差  
 継受領ノ手續ヲ爲スヘシ

一 押収工場事業場ノ軍直營ニ依ル收入金

二 軍政費繰替金ノ戻入金並ニ之ニ類スル收納金

三 敵産ニシテ設收ノ對象トナルヘキ收入及課金

取立金ノ類

四 軍ノ押收セル敵性銀行ノ差押金中敵國政府ノ前

有ト認メラルヘキモノ

五 未發行紙幣ノ發行額

六 押收品拂下代

七 其他歸屬明確ナラサル收入金一切

第三條 前條第三號ノ收入反課金、取立金、類ハ軍政

會計ノ收入不足ニ充當スル爲軍資金歳入ニ繰入ルル

コトナク軍司令官ノ認可ヲ受ケ當該會計ノ財政收入  
ト爲スコトヲ得

前條第五號ノ未發行紙幣ノ發行額ハ特別ノ必要アル

場合ニ於テハ軍資金歳入ニ繰入ルルコトナク總司令

官ノ認可ヲ受ケ其全部又ハ一部ヲ民間金融資金又ハ特別野戦酒保資金等ノ財源トシテ運用スルコトヲ得

第三條 左ノ資金等ハ軍政會計ノ收入トシテ繰入ルル

コトナク軍經理部々員タル歳入歳出外現金出納官吏ヲシテ之ヲ保管セシムヘシ

一 敵性差押銀行ノ資産ニシテ民有ニ屬スル現金及之ニ代ルヘキ有價証券類

歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ保護預託金トシ

テ整理（銀行別ニ内容ヲ明雁ニス）シ横濱正金  
銀行ニ預託スルモノトス

ニ 軍ニ於テ押收セル工場事業場ノ賣却代金及敵性  
私人ニ屬スル動産及不動産賣却代金

歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ「徵用財産賣却代  
金」トシテ整理（所有者別ニ内容ヲ明雁ニス）シ  
横濱正金銀行ニ預託スルモノトス

三 第二十一條第二項ニ依リ運用スヘキ資金  
歳入歳出外現金出納官吏ハ之ヲ未發行紙幣發行



運用金トシテ整理スルモノトス

第三條 前條第一號ノ保護預託金ハ總司令官ノ認可ヲ

受ケ民間金融資金又ハ特別野戦酒保資金其他必要ナ

ル方面ニ運用スルコトヲ得

前條第二號ノ徵用財産賣却代金ハ總司令官ノ認可ヲ

受ケ産業復興資金 敵性國人ノ收容又ハ生活費 敵

國財産ノ管理費其他必要ナル方面ニ運用スルコトヲ

得

第三條 軍政部長第二十一條及前條ノ規定ニ基キ其收

入又ハ資金ヲ軍政ニ關スル經費ニ運用スルノ必要ヲ  
認メタルトキハ軍經理部長ニ協議スヘシ

第五條 軍政ニ關スル經費ノ内左ノ諸費ハ臨時軍事費

ヨリ支出スルモノトス

一、軍固有ノ編成内ニ在ル軍人軍屬ノ諸給與ハ固有  
ノ科目ヨリ支出ス

二、軍事目的ノ爲實施スヘキ事業費（現地側經費ヲ  
以テ實施セシムルモノヲ除ク）

固有ノ科目又ハ特ニ示ス科目ヨリ支出ス

三 押収工場事業場ノ軍直營ニ要スル經費

事業ノ性質 生産品ノ種類ニ應シ衣糧費 兵器  
費 築造費等ヨリ支出ス

同一工場ニテ各科目ニ應スル生産品アル場合ハ  
概ネ生産額ニ應シ區分支出ス

四 軍政費ニ一時繰替ノ爲ノ補給費

臨時軍事費軍政費(目)ヨリ支出ス

五 其他特ニ指定セル經費(物資取得ノ經費等)

固有科目又ハ指定スル科目ヨリ支出ス

第三條 軍事目的ノ爲實施スヘキ事業費ニシテ毎月人件

費支出額三萬圓以上ニ及フ計畫ノモノハ豫メ其概要ニ

付總司令官ノ認可ヲ受クヘシ

#### 第四章 決算證明及會計監督

第三條 軍政會計歳入徴收官 支出官及出納官吏ハ規

程第十六條ニ依リ調製セル月次歳入徴收額計算書

支出計算書及出納計算書ヲ翌月二十五日迄ニ軍政部

長ニ提出スルト共ニ之ニ證據書類ヲ添ヘ軍經理部長

ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

第六條 軍政部長ハ年度經過後ニケ月以内ニ年度總收

支計算ヲ調製シ前妥ノ説明ヲ附スヘシ

第五條 軍政部長ハ規程第十七條ニ依リ月次歳入徴收

額計算書 支出計算書 出納計算書及年度總収支計

算書ヲ陸軍大臣ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 軍政會計ニ屬スル會計事務ノ監督ハ軍經理部

長之ヲ實施スヘシ

軍經理部長會計事務ノ監督上必要アルトキハ軍政會

計歳入徴收官 支出官及出納官吏（出納員）ニ對シ

所要ノ指示ヲ爲シ又ハ報告ヲ求ムルコトヲ得

但シ軍政部長ヲ經由スヘシ

第三條 軍經理部長會計事務ノ監督上必要アルトキハ軍

政部及軍政部支部ノ軍政會計事務ニ付實地検査ヲ行フ

コトヲ得

第三條 軍經理部長ハ軍司令官ノ認可ヲ受テ軍政會計事

務ノ監督ノ一部ヲ師團經理部長ニ委託スルコトヲ得

第三條 軍政會計出納官吏（出納員）其保管ニ係ル現金

ヲ亡失シクル場合ニ於テ其責ヲ免ルヘキ理由アリト信

スルトキハ關係書類ヲ調製シ重經理部長ニ送付シ其判  
決ヲ求ムルコトヲ得

第三條 第二十二條ノ歲入歲出外現金出納官吏ハ月次出  
納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月二十五日迄ニ軍  
經理部長ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

第三條 委託經營ニ係ル押収工場事業場ノ經營者ハ毎年  
六月 十二月ニ決算ヲ行ヒ二月以内ニ決算報告書ヲ  
調製シ財産目録及貸借對照表ヲ添ヘ軍政部長ニ提出ス  
ルト共ニ重經理部長ニ送付シ其検査ヲ受クヘシ

軍政部長ハ前項ノ決算書類ヲ總司令官ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第三六條 第三十一條及第三十二條ノ規定ハ委託經營ニ係ル押収工場事業場ノ會計監督ノ場合ニ之ヲ準用ス

附 則

第三七條 本細則ハ昭和十七年四月一日ヨリ施行ス

但シ狀況ニ依リ右ニ據リ難キ場合ハ努メテ速ク一本細則ヲ適用スヘシ

本細則施行前既ニ進行シツツアル軍政會計事務ハ本



細則ニ準據整理スヘシ

第六條 昭和十七年三月三十一日以前ノ軍政會計ハ昭

和十七年度ノ會計ニ包含シテ整理スヘシ

第七條 本細則ニ依リ軍司令官ヨリ申請又ハ報告スル

モノハ總司令官ヲ經由スヘシ